

HPE 
GreenLake

GreenLake のクラウドポータル

HPE GreenLake platform (GLP) ご紹介

日本ヒューレット・パッカード合同会社

2024 年 5 月 15 日

Contents

1

HPE GreenLake の進化

2

HPE GreenLake platform (GLP) とは？

3

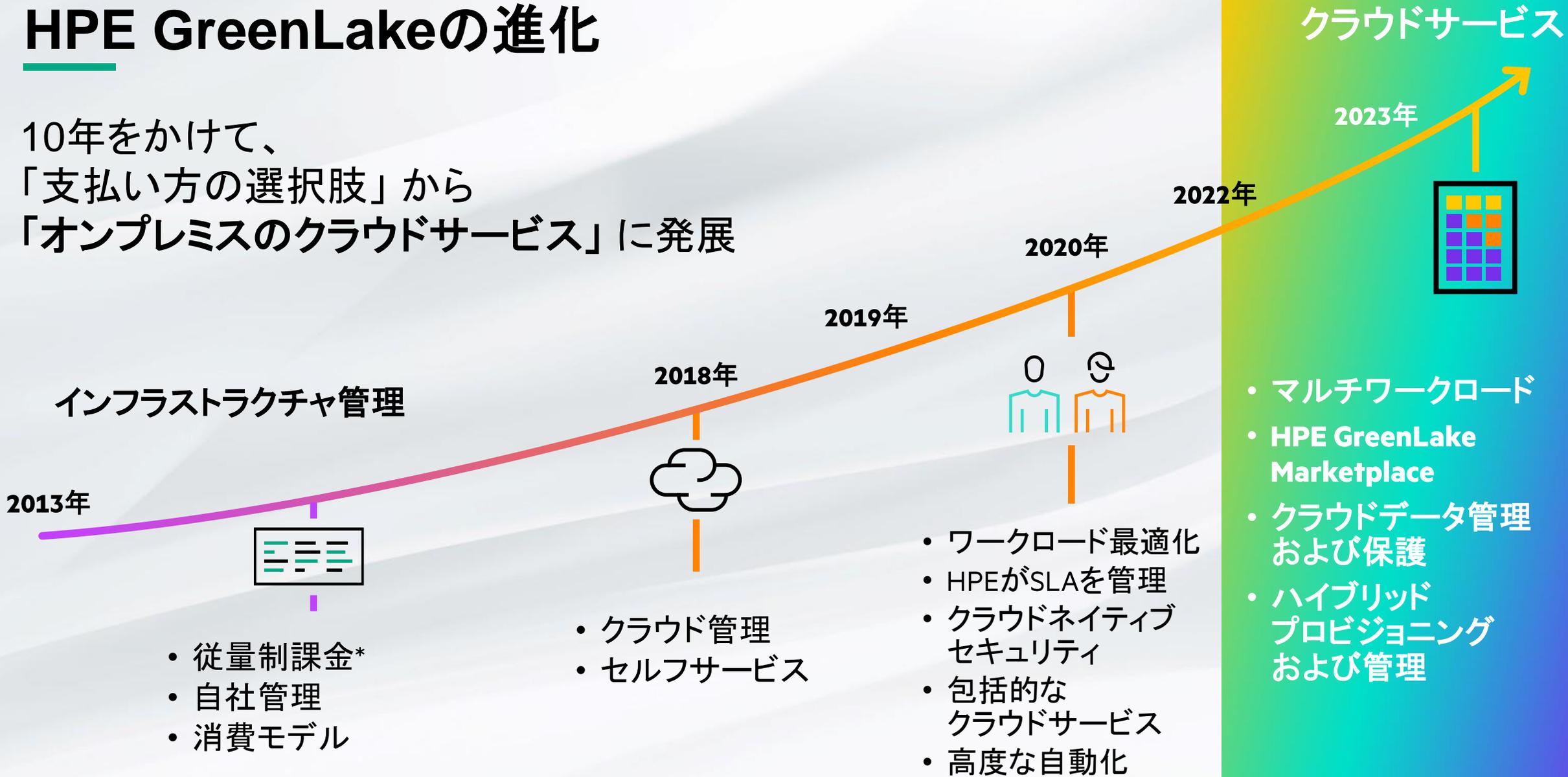
GLP にアクセスしてみよう！

4

GLP のアドバンテージ

HPE GreenLakeの進化

10年をかけて、
「支払い方の選択肢」から
「オンプレミスのクラウドサービス」に発展



* 制限事項が適用される場合があります

従量課金モデル から「クラウドサービス」へ

仮想化 / コンテナ

自社専有型かつ
高信頼なハードウェア

⚠️ お守りが必要

⚠️ 一括払い / リース
CAPEX

エグレスコスト 不要

機能

(ソフトウェア)

設備

(ハードウェア)

コスト

AI / FaaS
IaaS / PaaS 機能
セルフサービス & 自動化

仮想化 / コンテナ

⚠️ 他社共用のハードウェア
コンプライアンス課題、突然のメンテナンス

マネージドサービス

サブスクリプション
OPEX / 月額課金

⚠️ エグレスコスト 有料



一般的な
オンプレミス環境

パブリッククラウド



従量課金モデル から「クラウドサービス」へ

仮想化 / コンテナ

自社専有型かつ
高信頼なハードウェア

⚠️ お守りが必要

⚠️ 一括払い / リース
CAPEX

エグレスコスト 不要

仮想化 / コンテナ

自社専有型かつ
高信頼なハードウェア

⚠️ お守りが必要

サブスクリプション
OPEX / 月額課金

エグレスコスト 不要

AI / FaaS
IaaS / PaaS 機能
セルフサービス & 自動化

仮想化 / コンテナ

⚠️ 他社共用のハードウェア
コンプライアンス課題、突然のメンテナンス

マネージドサービス

サブスクリプション
OPEX / 月額課金

⚠️ エグレスコスト 有料



一般的な
オンプレミス環境

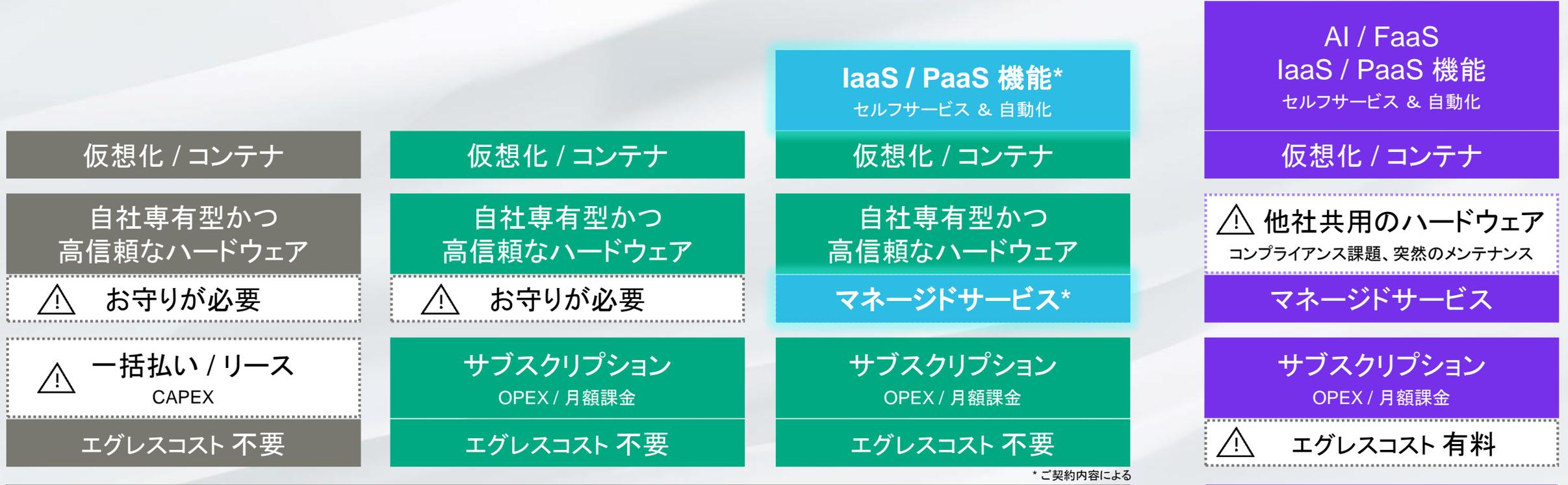
HPE 
GreenLake

Consumption IT

パブリッククラウド



従量課金モデル から「クラウドサービス」へ



 一般的な
オンプレミス環境

HPE GreenLake
Consumption IT

HPE GreenLake 
Private Cloud Services

パブリッククラウド 



HPE GreenLake クラウドサービス

パブリッククラウドでは難しかったシステムへ向けた新しいプライベートクラウドサービス

特長① 好きな場所で利用できる

パブリッククラウドや一般のプライベートクラウドと異なり、HPE GreenLake はお客様のサーバーームや契約中のデータセンターなど、任意の場所で利用可能です

特長② 自社専有のクラウドサービス

ストレージを含むすべての機器を他の契約者様と共用しない専有型のため、情報保護はもちろん、保守のダウンタイムもお客様のご都合に合わせて調整可能です。サービスレベルアグリーメント (SLA) を設定できるものもございます

特長③ お客様の「クラウドファースト」戦略に対応

HPE GreenLake で提供されるプライベートクラウドサービスは、IT専門調査会社 IDC Japan の分類で「クラウドファースト」の対象¹とされています。英国では政府の標準クラウドに認定²、米国では3大クラウドに続く評価をいただきました³



迅速さ | アジリティ | セルフサービス | 従量制課金* | スケールアップ/ダウン | マネージドサービス

エッジロケーション



データセンター



コロケーション施設



パブリッククラウド



EDGES



COLOCATION / DATA CENTERS



CLOUDS

* 制限事項が適用される場合があります

1 <https://www.idc.com/getdoc.jsp?containerId=prJPJ49914322>

2 <https://www.hpe.com/us/en/newsroom/press-release/2020/08/uk-government-signs-agreement-with-hewlett-packard-enterprise-to-cut-the-complexity-of-cloud-adoption.html>

3 Q22 Cloud Pulse Survey, September 2022, IDC

HPE GreenLake

Private Cloud & IaaS

プライベートクラウド

- HPE GreenLake for Private Cloud Enterprise
- HPE GreenLake for Private Cloud Business Edition

ハイブリッドクラウド

- HPE GreenLake for Microsoft Azure Stack HCI
- HPE GreenLake for Red Hat OpenShift Container Platform
- HPE GreenLake for VMware Cloud Foundation

AI

- HPE GreenLake for Large Language Modeling

コネクティビティ

- HPE GreenLake for Aruba networking

データストレージ

- HPE GreenLake for Block Storage
- HPE GreenLake for File Storage

SaaS

ハイブリッドクラウドサービス

- HPE GreenLake for Backup & Recovery
- HPE GreenLake for Disaster Recovery
- HPE Ezmeral Unified Analytics

クラウドベース管理

- HPE Aruba Networking Central
- HPE GreenLake for Compute Ops Management
- Data Services Cloud Console
- OpsRamp
- Sustainability Insight Center

Flex Solutions

個別要件に対してモジュール提供

- AI,ML,データ解析
- ビジネスアプリケーション
- コンテナ
- コアコンピューター
- データベース
- データ保護
- データストレージ
- エッジコンピューター
- HPC
- ハイブリッドクラウド
- ハイパーコンバージド
- SAP
- 仮想化 / VDI

HPE GreenLake edge-to-cloud platform



Contents

1 HPE GreenLake の進化

2 HPE GreenLake platform (GLP) とは？

3 GLP にアクセスしてみよう！

4 GLP のアドバンテージ

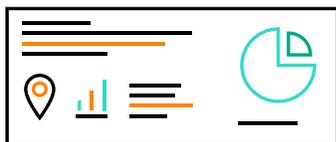
HPE GreenLake の構成要素は 2 つ



HPE GreenLake

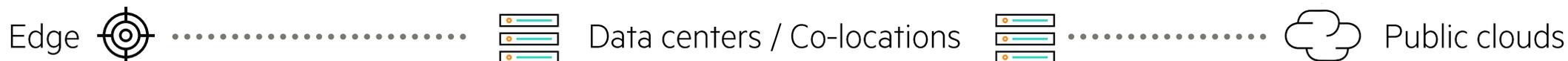
1. HPE GreenLake edge-to-cloud platform

ハイブリッドクラウド運用のための
共通サービスと統一された管理ポータル



2. HPE GreenLake services

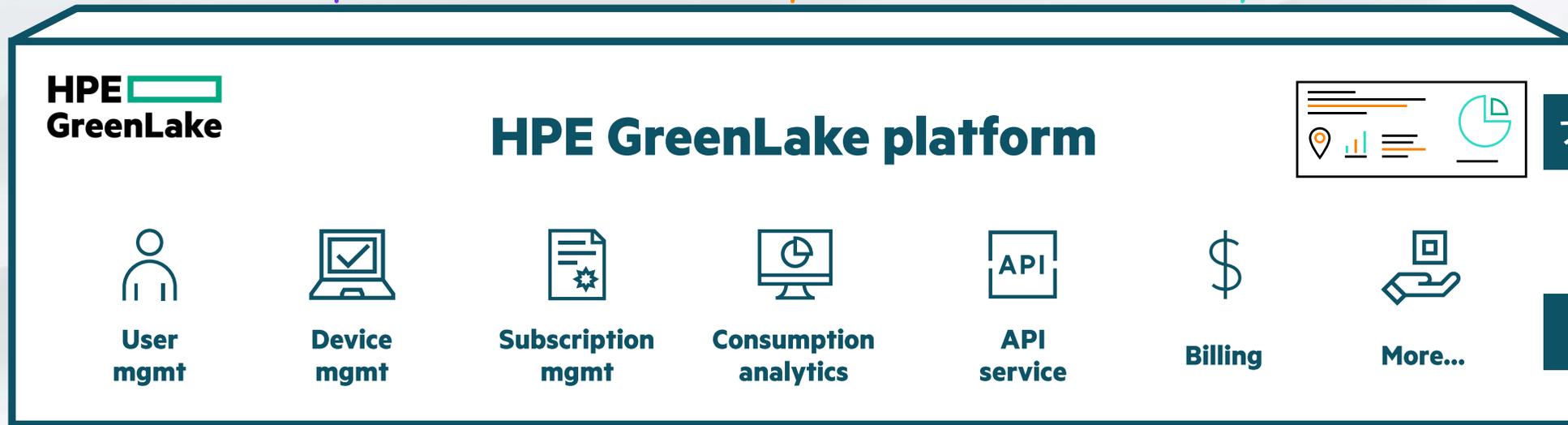
マルチクラウドに対応した
サービスの集合体とオフリング群



1. HPE GreenLake edge-to-cloud platform

= HPE GreenLake の統合管理、共通サービス、アクセスポータル、API

クラウドサービス
on-prem / in the cloud
HPE GreenLake / non-HPE



2. HPE GreenLake services

= 実際のオフリングサービス

HPE GreenLake

Private Cloud & IaaS

プライベートクラウド

- HPE GreenLake for Private Cloud Enterprise
- HPE GreenLake for Private Cloud Business Edition

ハイブリッドクラウド

- HPE GreenLake for Microsoft Azure Stack HCI
- HPE GreenLake for Red Hat OpenShift Container Platform
- HPE GreenLake for VMware Cloud Foundation

AI

- HPE GreenLake for Large Language Modeling

コネクティビティ データストレージ

- HPE GreenLake for Aruba networking
- HPE GreenLake for Block Storage
- HPE GreenLake for File Storage

SaaS

ハイブリッドクラウドサービス

- HPE GreenLake for Backup & Recovery
- HPE GreenLake for Disaster Recovery
- HPE Ezmeral Unified Analytics

クラウドベース管理

- HPE Aruba Networking Central
- HPE GreenLake for Compute Ops Management
- Data Services Cloud Console
- OpsRamp
- Sustainability Insight Center

Flex Solutions

個別要件に対してモジュール提供

- AI,ML,データ解析
- データストレージ
- ビジネスアプリケーション
- エッジコンピューティング
- コンテナ
- HPC
- コアコンピューティング
- ハイブリッドクラウド
- データベース
- ハイパーコンバージド
- データ保護
- SAP
- 仮想化 / VDI

HPE GreenLake platform と HPE GreenLake services の関係



Private Cloud & IaaS

プライベートクラウド

- HPE GreenLake for Private Cloud Enterprise
- HPE GreenLake for Private Cloud Business Edition

ハイブリッドクラウド

- HPE GreenLake for Microsoft Azure Stack HCI
- HPE GreenLake for Red Hat OpenShift Container Platform
- HPE GreenLake for VMware Cloud Foundation

AI

- HPE GreenLake for Large Language Modeling

コネクティビティ データストレージ

- HPE GreenLake for Aruba networking
- HPE GreenLake for Block Storage
- HPE GreenLake for File Storage



SaaS

ハイブリッドクラウドサービス

- HPE GreenLake for Backup & Recovery
- HPE GreenLake for Disaster Recovery
- HPE Ezmeral Unified Analytics

クラウドベース管理

- HPE Aruba Networking Central
- HPE GreenLake for Compute Ops Management
- Data Services Cloud Console
- OpsRamp
- Sustainability Insight Center



Flex Solutions

個別要件に対してモジュール提供

- AI, ML, データ解析
- データストレージ
- ビジネスアプリケーション
- エッジコンピューティング
- コンテナ
- HPC
- コアコンピューティング
- ハイブリッドクラウド
- データベース
- ハイパーコンバージド
- データ保護
- SAP
- 仮想化 / VDI

右記の両方

各種ツールへのアクセス手段
とアクセス権限の管理

利用状況と請求金額
の確認手段



HPE GreenLake platform



Contents

1 HPE GreenLake の進化

2 HPE GreenLake platform (GLP) とは？

3 GLP にアクセスしてみよう！

4 GLP のアドバンテージ

GLP の利用方法

1. HPE.com にアクセス（インターネット）

Hewlett Packard Enterprise

オンラインストア HPE GreenLake ソリューション 製品 サービス 企業情報 サポート お問い合わせ

HPE GreenLake 概要 サービス セキュリティ マーケットプレイス (英語) お客様導入事例 **HPE GreenLakeの利用を開始する**

Edge-to-Cloudプラットフォーム

HPE GreenLake

ハイブリッドクラウドへの完全な移行をご希望であれば、クラウドと as a serviceソリューションのポर्टフォリオでビジネスの簡素化と高速化を支援するHPE GreenLakeにお任せください。HPE GreenLakeは、エッジ、データセンター、コロケーション、パブリッククラウドなど、あらゆる場所のアプリケーションとデータにクラウドエクスペリエンスをもたらします。従量制課金ベースで利用できるHPE GreenLakeは、新たなビジネス機会の創出に不可欠な柔軟性を備えたセキュアなオープン型Edge-to-Cloudプラットフォームで稼働します。

AIの有効活用をご希望であれば、HPE GreenLakeが、AIを大規模に展開できるスーパーコンピューターへのアクセスを提供します。

ビデオを見る

調査レポート: 無計画なハイブリッドクラウドから計画的なハイブリッドクラウドへ

HPEのレポートによると、ハイブリッドクラウドのユーザーであるITリーダーの62%は、現在のモデルは今後5年で変わっていると回答しています。

ハイブリッドクラウドを活用することで、新たなビジネス機会をどのように創出するかに関連する有益な情報が得られます。

レポート全文をダウンロード **サマリレポートを読む**

HPE GreenLakeの利用を開始する

OR

<https://common.cloud.hpe.com/>

GLP の利用方法

2. HPE アカウント or SSO でログイン

Hewlett Packard Enterprise

Connecting to Hewlett Packard Enterprise

Sign-in with your HPE account to access HPE GreenLake edge-to-cloud Platform

サインイン

ユーザー名

xxxxxxx@company.co.jp

このコンピュータに記憶する

次へ

または

Sign in with SSO

[サインインについてヘルプが必要ですか?](#)

アカウントをお持ちでないですか? [Sign up](#)

HPE アカウント
でログイン

企業 SSO
でログイン

多要素認証 (MFA) もサポート

Hewlett Packard Enterprise

セキュリティ方式により自分の身元を確認する

次のオプションから選択

- コードを入力する Okta Verify 選択
- プッシュ通知を受け取る Okta Verify 選択
- パスワード 選択
- Virtual Digitalbadge 選択

[サインインに戻ります](#)

- HPE IceWall
- Okta Verification
- Google Authenticator
- スマートカード
- 生体認証

GLP の利用方法

3. GLP 画面（ホーム）

2023年12月より UI を刷新
日本語化対応済み

HPE SaaS
サービス（アプリ）へのリンク

- ✓ GLP のメイン
- ✓ この先は有償
（個々の契約が必要）



サポート問合せ
（Web フォーム）

GLP の設定管理

開発者ポータル
へのリンク

GLP の利用方法

4. GLP 画面（サービスカタログ）

サービスカタログ

すべてのクラウドサービスを表示します。

すべての地域 ^

すべての地域

EU Central

AP NorthEast

US West

AP AusNZ

AP South

MEA

CA Central

CN North

EU West

US Central

🔍 名前と説明で検索

🔍

18 項目

コンピュータ

Compute Ops Management

コンピュータインフラストラクチャを、どこにいてもセキュアに管理することができます。

→

ネットワーク

Aruba Central

AI、自動化、セキュリティにより、キャンパス、ブランチ、SD-WAN、データセンターのネットワークを管理します。

→

Aruba Central Internal

AI、自動化、セキュリティにより、キャンパス、ブランチ、SD-WAN、データセンターのネットワークを管理します。

→

ストレージ

Data Services

ハイブリッドクラウドの世界向けに構築されており、データの可能性を最大限に引き出すことができます。

→

Block Storage

Simple and easy to provision, protect, and manage block storage that meets your application needs.

→

File Storage

標準的なファイル提供プロトコルでアクセスできるファイルベースのストレージです。

→

Backup and Recovery

自動保護により、迅速な復元とコスト効率に優れた長期保存を可能にします。

→

Data Ops Manager

フリート単位の管理と監視により、大規模なストレージ管理を簡素化します。

→

Disaster Recovery

継続的なデータ保護による Disaster Recovery とデータモビリティ。

→

ワークロード

HPE GreenLake Flex Solutions

以前の名称はHPE GreenLake Centralで、HPE GreenLake Flex Solutionsの使用状況とコストを表示し、Private Cloud Enterprise サービスを管理します。

→

ML Ops

エンタープライズグレードのAI/MLと分析により、データに閉じ込められた継続的な価値の流れを掘り起こします。

→

※ 19 個の HPE SaaS サービスに対応（2024年3月現在）

High Performance Computing

ハイパフォーマンスワークロードとAIに最適化されたシステムで、大きな問題を解決します。

→

Data Fabric

ストレージファブリックの構成、監視、管理を高速化します。

→

Private Cloud

Private Cloud Enterprise

プライベート環境におけるVM、コンテナ、ペアメタルのモダンなクラウドエクスペリエンス。

→

Private Cloud Business Edition

インフラストラクチャと仮想化リソースのグローバルなライフサイクル管理。

→

管理とガバナンス

HPE Sustainability Insight Center

IT資産の持続可能性を最適化するための可視性とインサイトを獲得

→

HPE InfoSight

サーバー、ストレージ、仮想マシンなどを網羅するAI主導のインテリジェンスを実現します。

→

OpsRamp

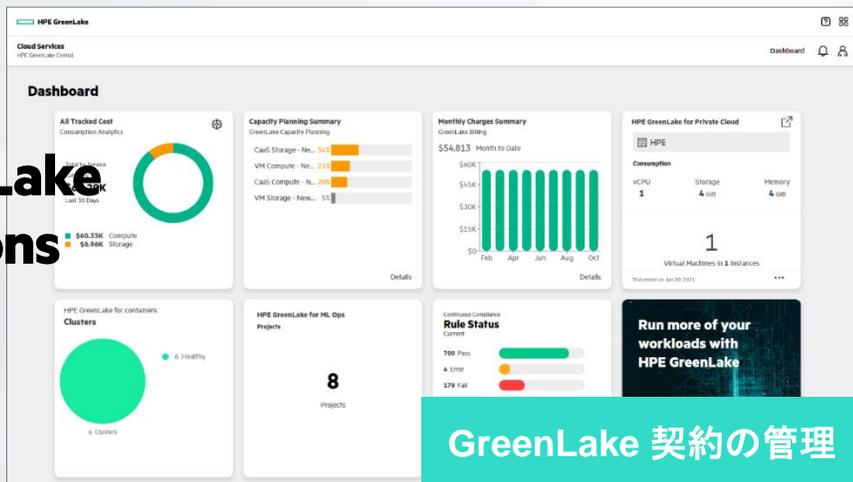
AIOps主導のクラウドIT運用管理により、ハイブリッドクラウドリソースを効果的に管理します

→

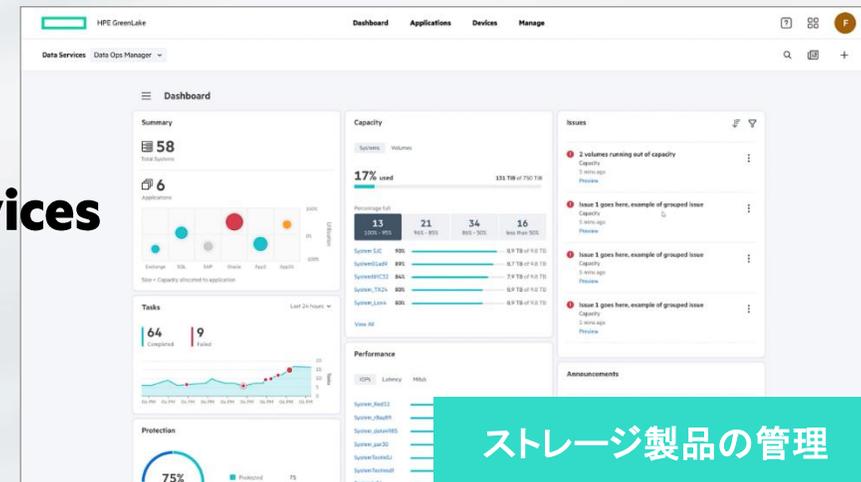
参考: GLP 対応の主要サービス (Big 4)

利用については
個々の契約が必要

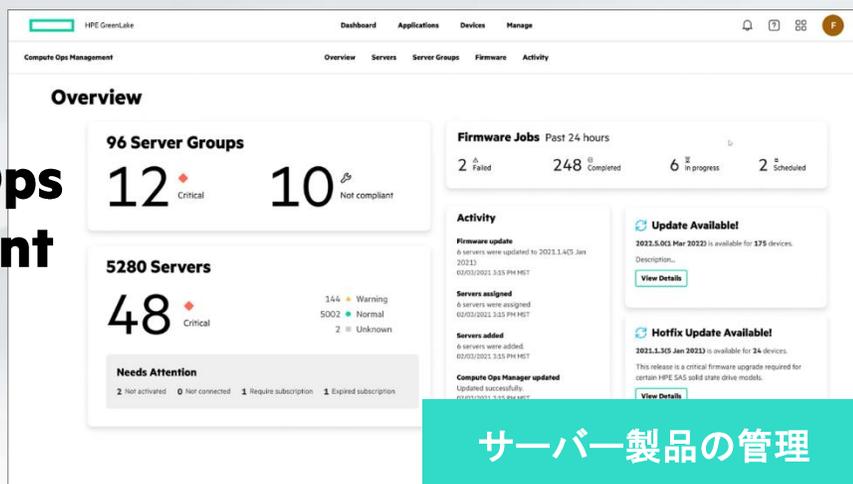
HPE GreenLake Flex Solutions (GreenLake)



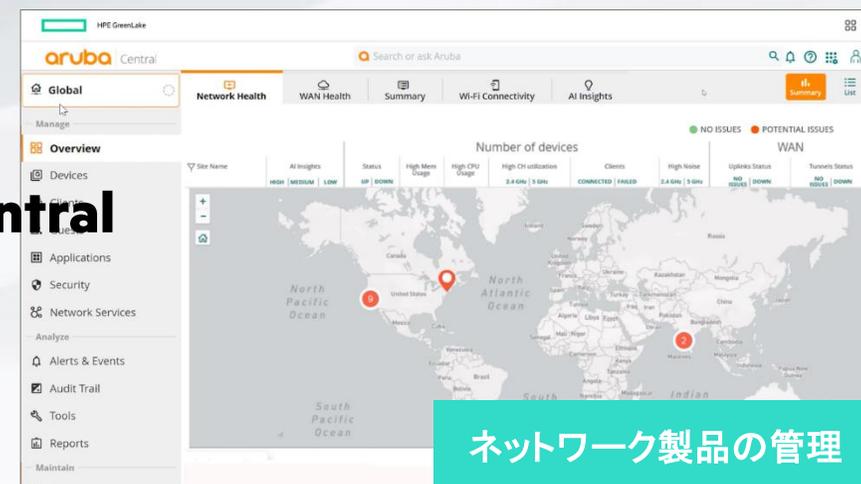
Data Services (Storage)



Compute Ops Management (Compute)



Aruba Central (Aruba)



GLP の利用方法

5. GLP 画面（設定管理の一部）



ワークスペースの詳細

名前、電話番号、メールアドレス、MFA構成など、ワークスペースの詳細を管理します。



IDとアクセス

ユーザーとそのサービスおよびリソースへのアクセスを管理します。



監査ログ

すべてのアプリケーションの変更とプロセスを表示します。



認証

会社のシングルサインオン (SSO) をHPE GreenLakeに接続します。



API

APIを介してアプリケーションデータにアクセスします。



IPアクセスルール

IPアクセスをセットアップして管理します。



使用状況レポート

サブスクリプションとシステムリソースの使用状況を追跡します。



ロケーション

デバイスの住所を管理し、サポートサービスを自動化します。

IAM が中心
レポートや監査機能も

ワークスペースのタイプ

標準エンタープライズ 現在のワークスペース

A standard enterprise workspace is intended for customers managing their own GreenLake workspace end-to-end. This workspace is best suited for customers who only need to manage their own HPE cloud services, devices and subscriptions.

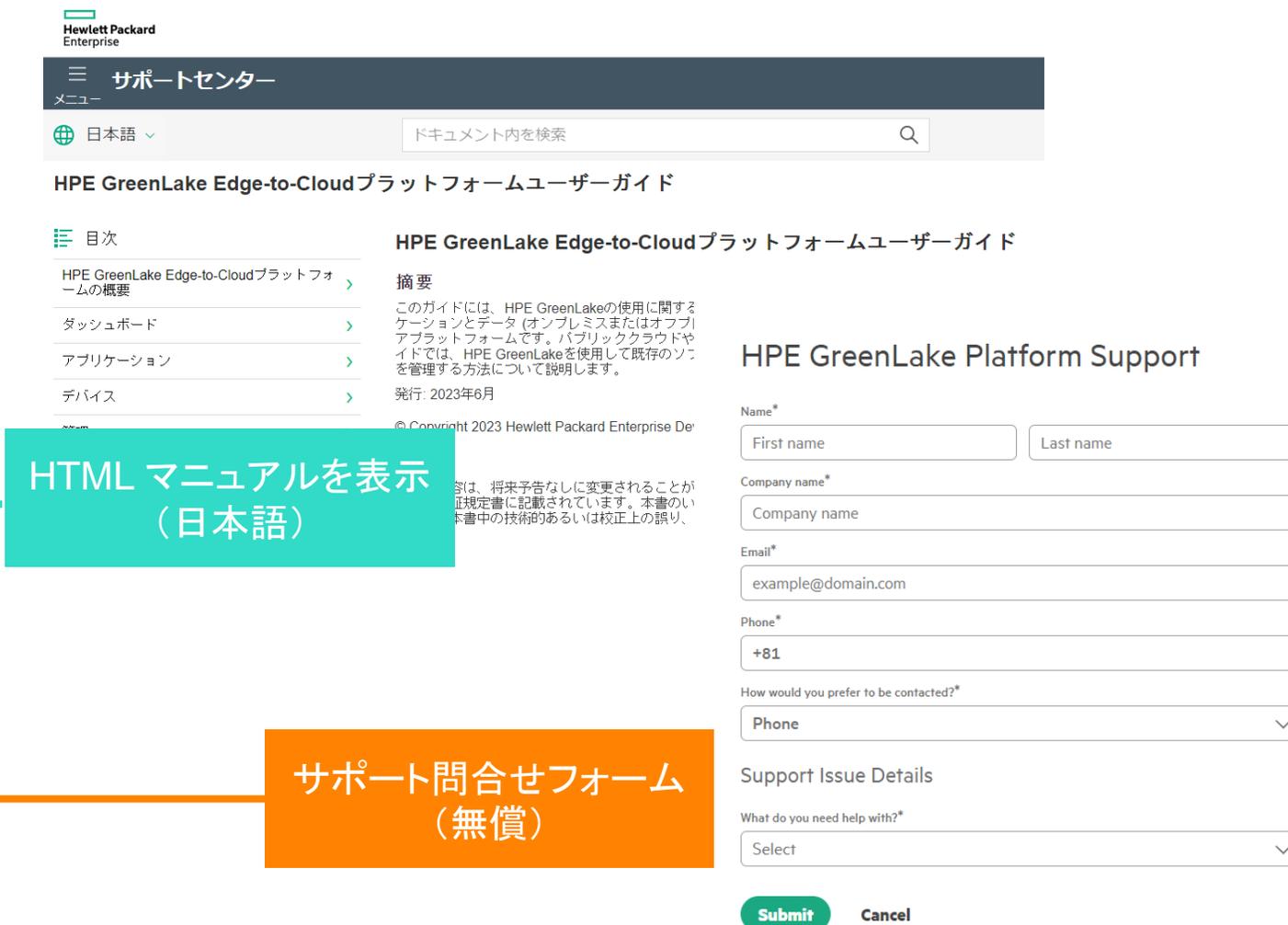
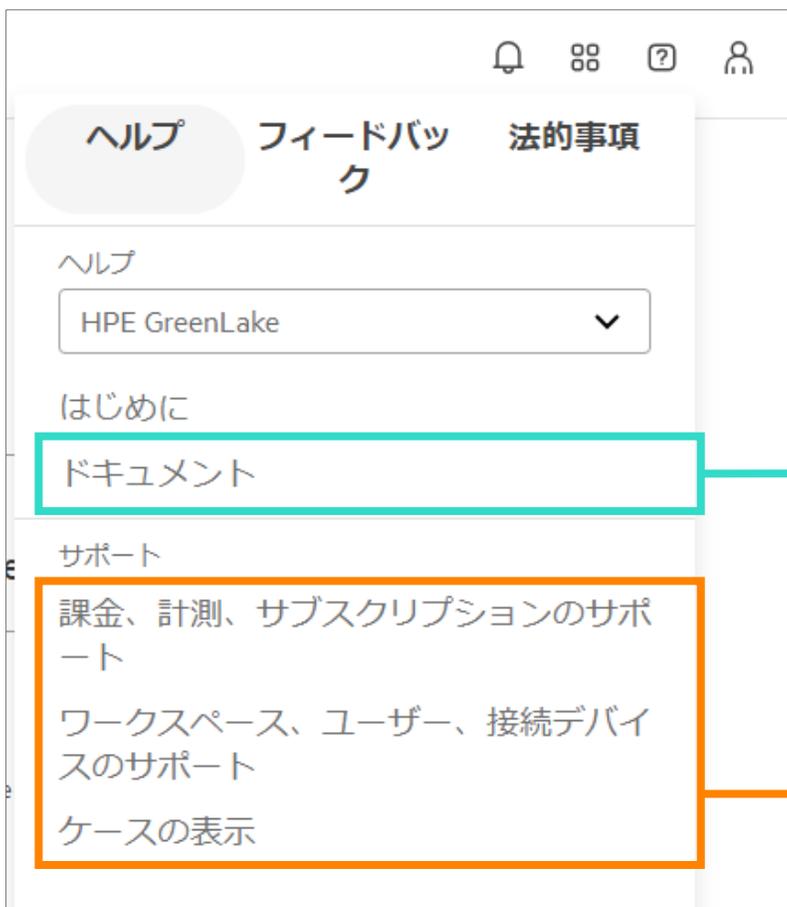
マネージドサービスプロバイダー

A managed service provider workspace, or MSP workspace, is an operational mode between a service provider and clients. This workspace type is only for service providers to manage their client's GreenLake workspaces, devices and subscriptions across supported HPE cloud services.

MSP 事業者対応 **New!**
アクセス先サービス側の対応も必要

GLP の利用方法

6. GLP 画面（ヘルプとサポート）



HTML マニュアルを表示
(日本語)

サポート問合せフォーム
(無償)



SaaS 提供なので、続々と機能追加・強化されていきます

HPE GreenLake Edge-to-Cloud Platform Release Notes

February 23, 2024

HPE Sustainability Insight Center

We've enhanced the usability and flexibility of the HPE Sustainability Insight Center to access a broader range of device data and provide better insights into your IT environment. Here are the key updates:

- Aruba access point data—In addition to HPE Compute devices managed by HPE GreenLake for Compute Ops Management and HPE GreenLake for Compute Ops Management - OneView Edition, you can now view data for Aruba access points with power reporting functionality.
- OpsRamp integration—The HPE Sustainability Insight Center integrates with OpsRamp enabling you to view data for third-party assets and devices that are not managed by the HPE GreenLake platform.
- Device host names—You'll now find host names of the devices being monitored, which can help you identify workloads that need adjustments or changes.
- Localization and language preferences—The HPE Sustainability Insight Center now supports localization settings and language preferences to accommodate a diverse user base.
- APIs for data export—Seamlessly export report data to third-party tools using the provided APIs.

For more information, see HPE GreenLake edge-to-cloud platform [user documentation](#).

Updated permissions for device and subscription report downloads

We've updated the permissions required to download device inventory and device subscription reports. You now need to hold specific roles associated with the report download permission for a given workspace to be able to view and download reports for that workspace. However, you can download reports that you generate.

For more information, see HPE GreenLake edge-to-cloud platform user documentation about [Downloading device inventory data](#) and [Downloading device subscription data](#).

December 15, 2023

Expired device subscriptions are hidden

All expired device subscriptions are now hidden by default. If you want to see your expired device subscriptions, use the filters on the device subscriptions page.

December 5, 2023

HPE GreenLake platform UI

The new HPE GreenLake platform UI provides a quick visual and access to HPE GreenLake platform features and services from a single location. The new layout allows easy access to the services you utilize the most, along with links to various HPE GreenLake platform pages.

For more information, see HPE GreenLake edge-to-cloud platform [user documentation](#).

November 28, 2023

HPE Sustainability Insight Center

We've launched a new service: The HPE Sustainability Insight Center provides a current view of the total energy consumption for HPE compute devices that are managed by HPE GreenLake for Compute Ops Management and HPE GreenLake for Compute Ops Management - OneView Edition including information about greenhouse gas emissions, and costs associated with your energy consumption.

For more information, see HPE GreenLake edge-to-cloud platform [user documentation](#).

November 23, 2023

Authentication for device and subscription data downloads

Authentication is now added to the link that we email you to download your reports. If you are not already logged in to HPE GreenLake platform, the download link first opens the HPE GreenLake platform login page. After you log in, the report automatically downloads to your computer.

For more information, see HPE GreenLake edge-to-cloud platform user documentation at [Downloading device inventory data](#) and [Downloading device subscription data](#).

October 10, 2023

OpsRamp integration

We updated HPE GreenLake to include full Integration of the OpsRamp application. OpsRamp with HPE GreenLake provides a unified approach to managing multi-vendor computing, networking, storage, and application resources in hybrid and multi-cloud IT environments. New OpsRamp users benefit from one platform from which to automate and orchestrate their IT environment.

For more in

HPE GreenLake Edge-to-Cloud Platform Release Notes

HPE Sustainability Insight Center Updated!

ITインフラの SDGs を可視化する、GLP SaaS アプリケーション（無償*）



HPE サーバー



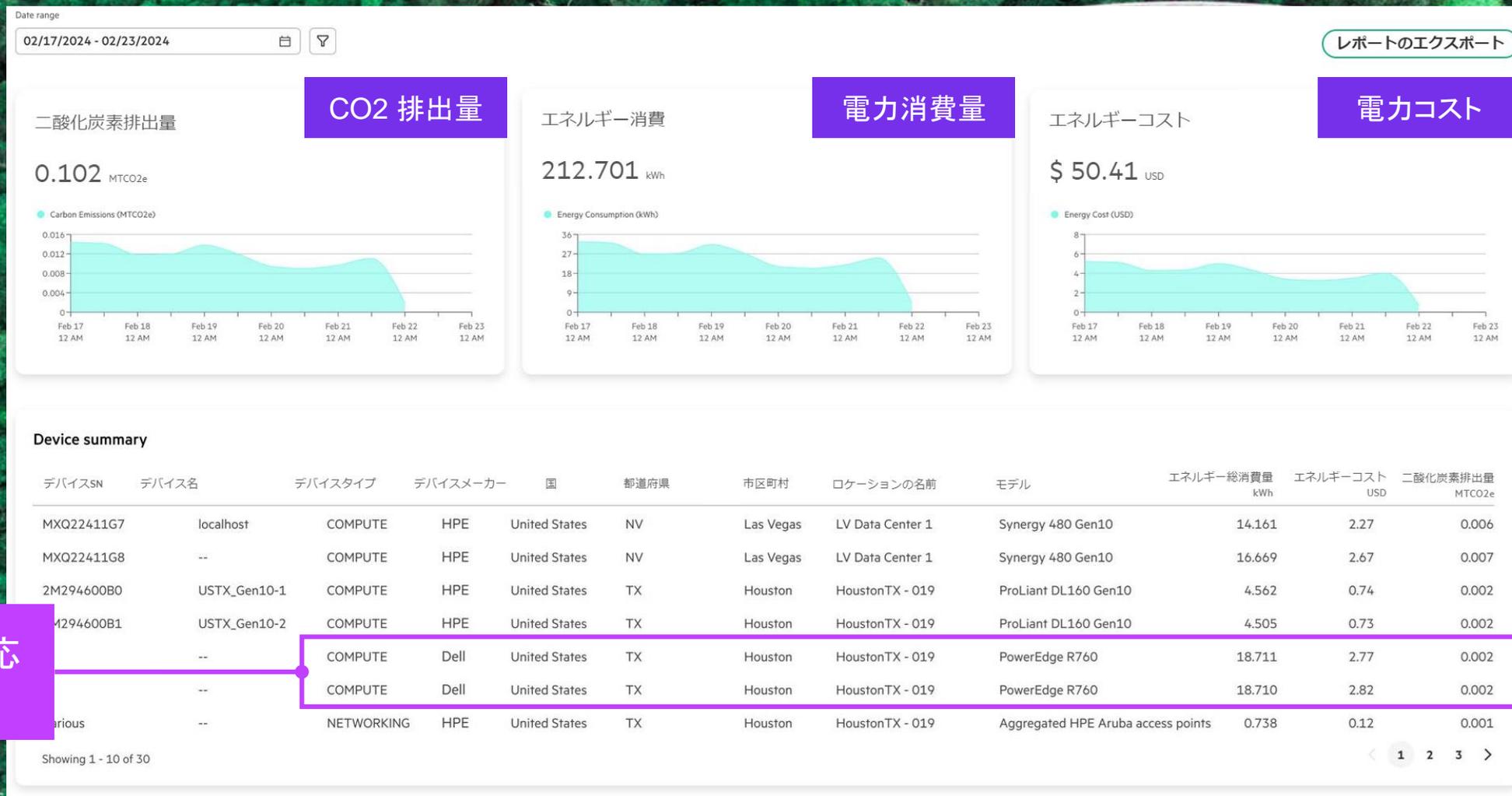
HPE ストレージ



HPE Aruba
アクセスポイント

他社製ハードウェアにも対応

OpsRamp SaaS のご契約がある場合



* 監視対象の機器は COM/DSCC/Aruba Central/OpsRamp といった GLP SaaS アプリケーションで管理されている必要があります

HPE OpsRamp

AIOps による IT運用管理 SaaS サービス

HPE GreenLake プラットフォームに統合予定

OpsRamp

a Hewlett Packard Enterprise company



OpsRamp

Partner Overview

- Inventory: 146 Devices
- Resource Type: 1279 Total
- Device Availability: 336 Total

Search Resources Groups Sites Services Topology Maintenance Activity Containers

Assets	Inventory	Global Assets	Device Availability
Assets	Device Type	Asset	Status
Asset Count	Device Count	Asset Count	Device Count
Kubernetes	KubeMaster	Storage >> SAN	up
Storage Gateway	Storage	Network Device >> Firewall	down
Redshift Cluster Node	Desktop	Desktop >> Laptop	unknown
Redshift	virtual machine scale sets vm	Desktop	undefined
Other	Other	Cisco UCS	
OpsRamp Gateway	OpsRamp Gateway	VMware	
Network Device	Network Device	Storage >> NetApp Filer	
Lightsail	Lightsail	Server >> Cisco UCS Fabric Interconnector	
Server	Server	Workspace	

Alert Statistics

- 94.34% REDUCTION (29739 OF 31523)
- 99.86% REDUCTION (31480 OF 31523)

INGESTION: 31523 Ingested

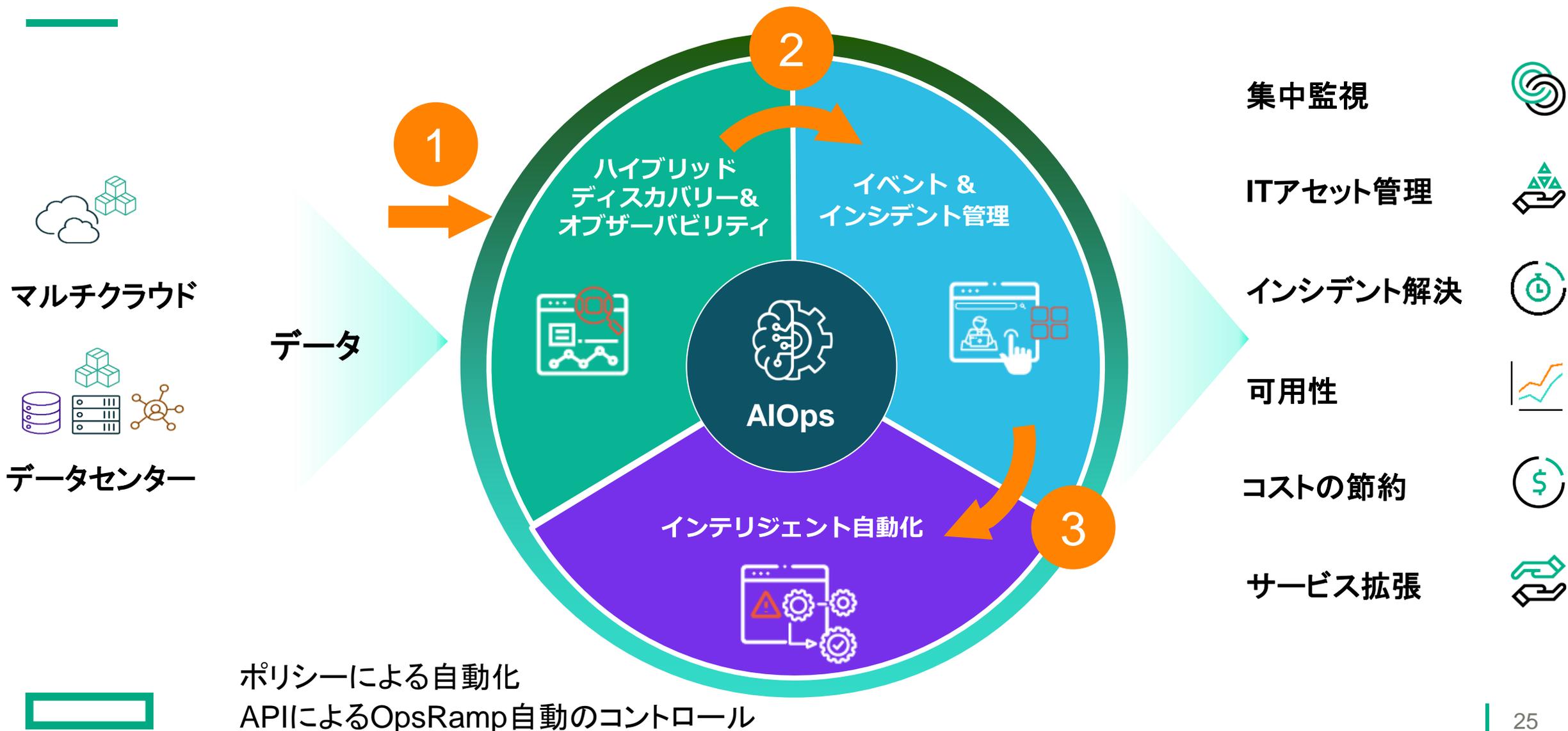
CORRELATION: 2029 Degrated, 8445 Correlated, 556 Actionable, 242 Actionable And Inferred

RESPONSE: 2029 Degrated, 8445 Correlated, 9 Suppressed, 17 Ticked, 43 Pending User Response



HPE OpsRamp

デジタル運用のためのハイブリッド・コマンド・センター



ポリシーによる自動化
APIによるOpsRamp自動のコントロール

HPE OpsRamp

2,500 以上のインテグレーションをサポート

3RD PARTY EVENTS

APPLICATIONS

DATABASE

SSO

NETWORK

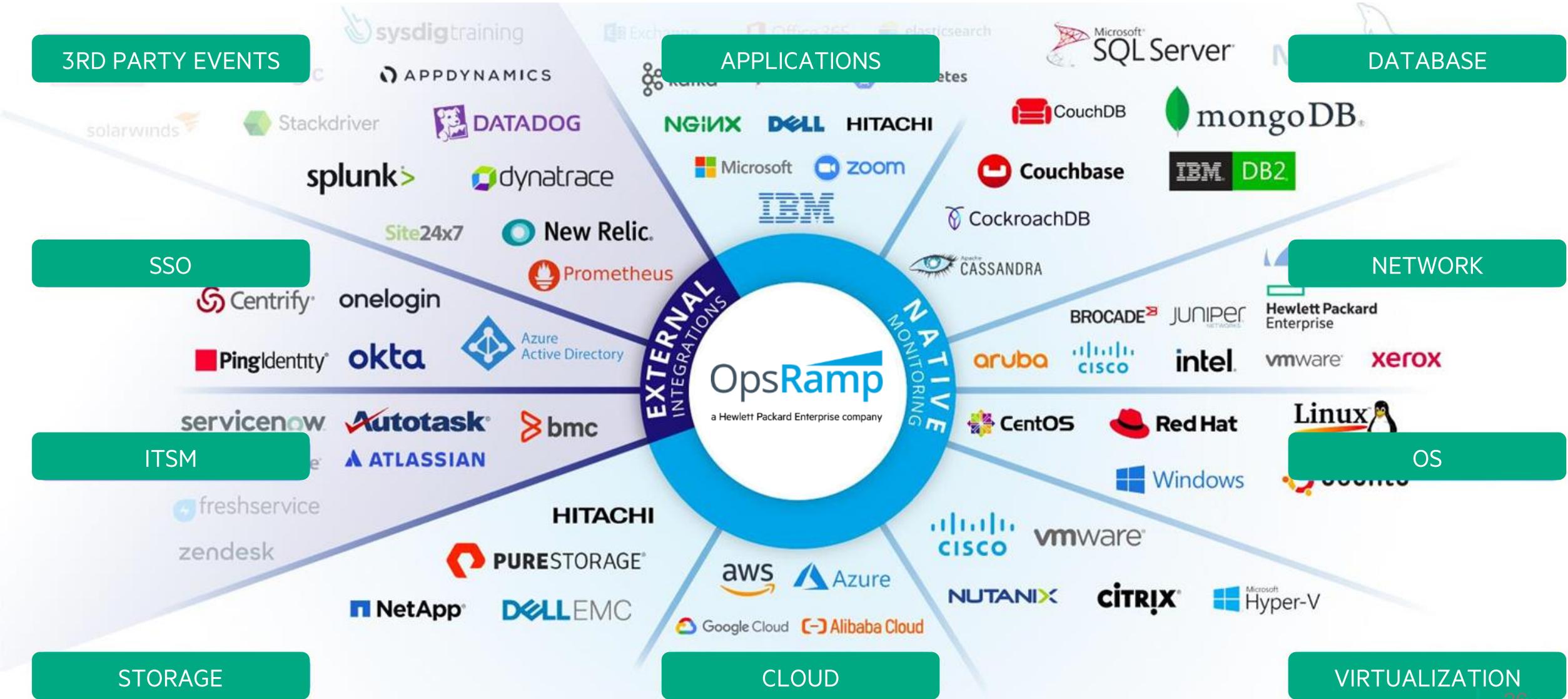
ITSM

OS

STORAGE

CLOUD

VIRTUALIZATION



Contents

1 HPE GreenLake の進化

2 HPE GreenLake platform (GLP) とは？

3 GLP にアクセスしてみよう！

4 GLP のアドバンテージ

GLP が担うものは「クラウドエクスペリエンス」

The screenshot shows the Microsoft Azure portal. At the top, there's a navigation bar with the Microsoft Azure logo, a search bar containing 'リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+/)', and user information for 'daichi.ogawa@hpe.c...'. Below the navigation bar, the main content area is divided into several sections: 'Azure サービス' (Azure Services) with icons for 'リソースの作成', 'AKS 上の Azure...', 'すべてのリソース', 'クイック スタート センター', 'Virtual Machines', 'App Service', 'ストレージ アカウント', 'SQL データベース', 'Azure Cosmos DB', and 'その他のサービス'; 'リソース' (Resources) with a table showing columns for '名前', '種類', and '最終表示日'; '移動' (Move) with icons for 'サブスクリプション', 'リソース グループ', 'すべてのリソース', and 'ダッシュボード'; 'ツール' (Tools) with icons for 'Microsoft Learn', 'Azure Monitor', 'Microsoft Defender for Cloud', and 'コスト管理'; and '役に立つリンク' (Useful Links) with links for '技術文書', 'Azure 移行ツール', 'Azure サービス', 'Azure Expert の検索', '最新の Azure 更新プログラム', and 'クイック スタート センター'. At the bottom right, there are 'Azure mobile app' download buttons for the App Store and Google Play.

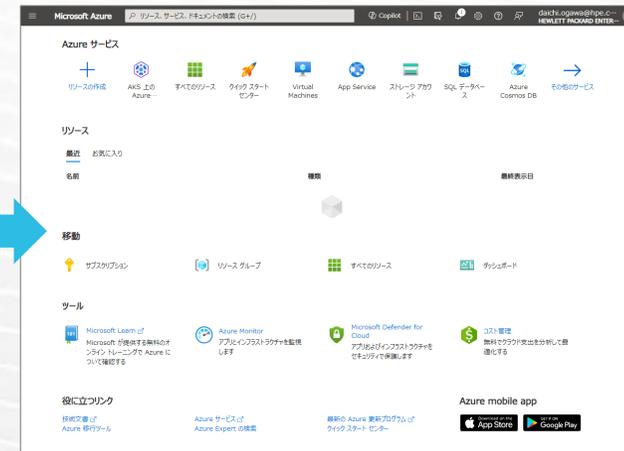
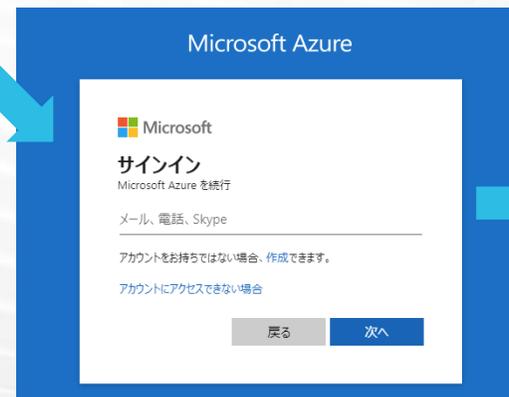
Microsoft Azure portal

The screenshot shows the HPE GreenLake platform interface. At the top, there's a navigation bar with the HPE GreenLake logo, 'Workspace - HPE Japan', and navigation links for 'ホーム', 'サービス', and 'デバイス'. Below the navigation bar, the main content area is divided into several sections: 'はじめに' (Getting Started) with a 'サービスの検索' (Search services) button and a 'ワークスペースの管理' (Manage workspace) button; 'おすすめのサービス' (Recommended services) with a 'カタログの表示' (View catalog) button and a list of service categories: '推奨 (8)', 'Private Cloud (2)', 'コンピューート (1)', 'ストレージ (6)', 'ネットワーク (2)', and 'ワークロード (4)'; a grid of service cards including 'Aruba Central', 'Data Services', 'Compute Ops Management', 'HPE GreenLake Flex Solutions', 'Private Cloud', 'OpsRamp', 'HPE Sustainability Insight Center', and 'HPE InfoSight'; and a '学習' (Learning) section with links to 'HPE GreenLake Developer Portal' and 'HPE GreenLakeの最新情報'.

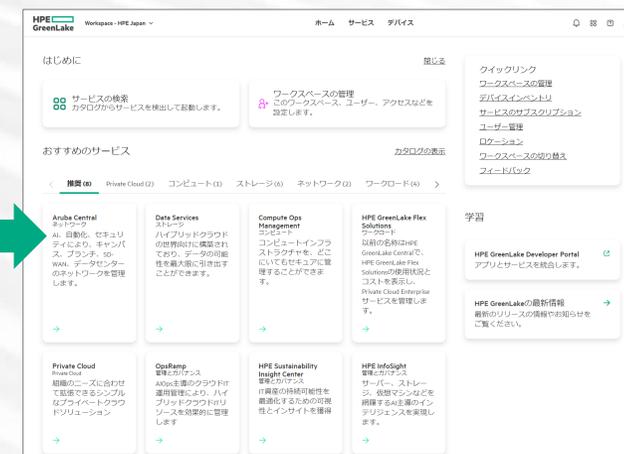
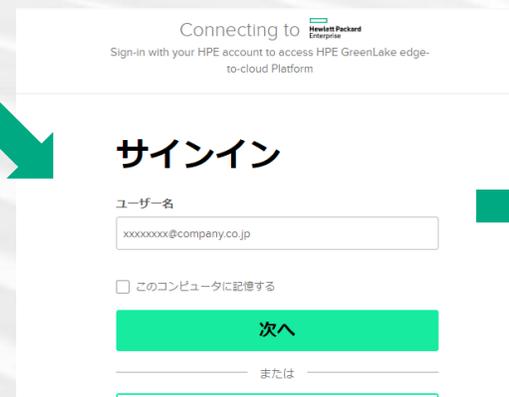
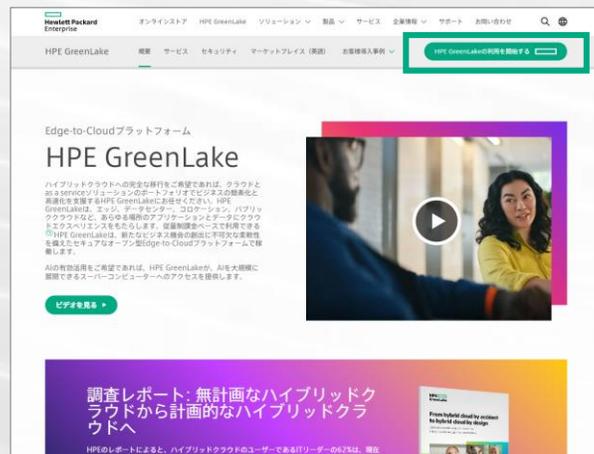
HPE GreenLake platform

GLP が担うものは「クラウドエクスペリエンス」

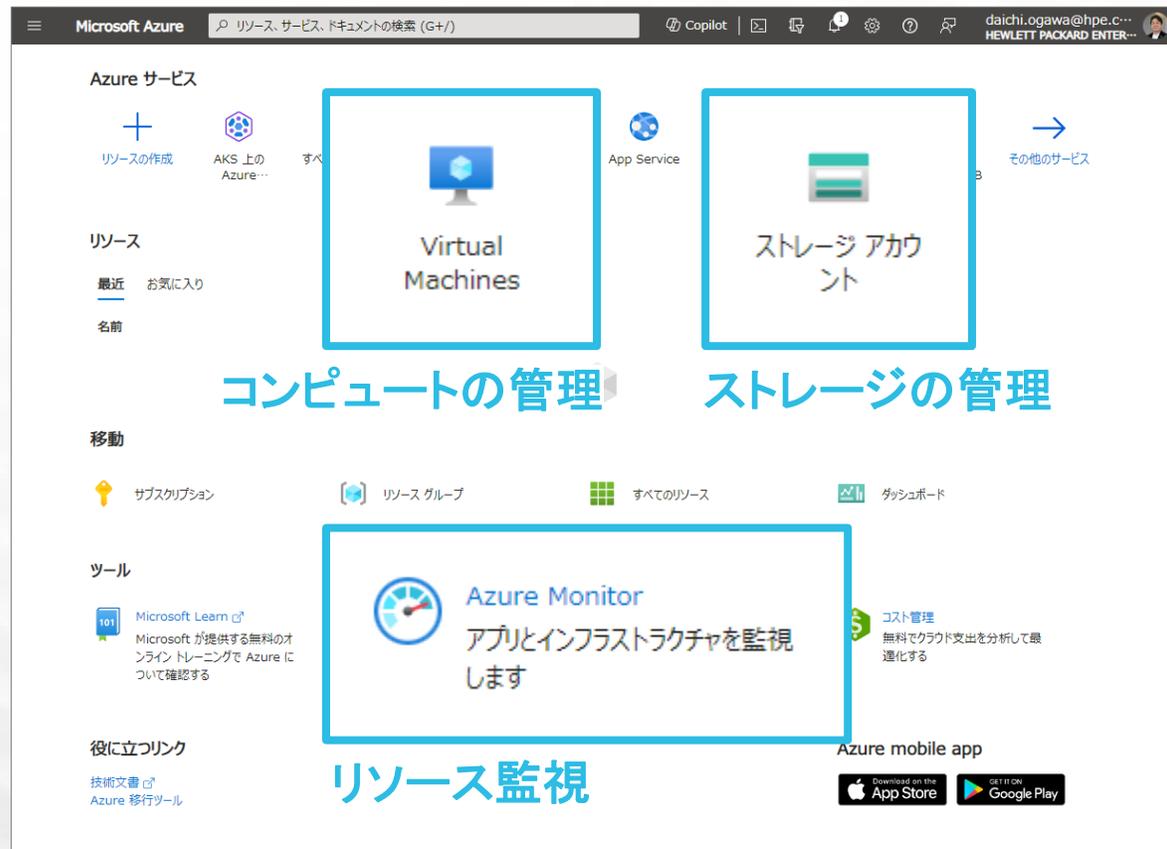
Microsoft Azure portal



HPE GreenLake platform



GLP が担うものは「クラウドエクスペリエンス」



Microsoft Azure portal



HPE GreenLake platform



GLP のメリット - ① パブリッククラウド との比較

コンセプトが一緒

- 統合ポータル
 - 各サービス・管理ツールへのアクセスを統合（窓口）
 - 統合ポータルの利用だけなら無償
- 共通サービスを提供
 - IAM / SSO
 - 監査ログ
 - レポーティング
 - サブスクリプション管理
 - など
- インターネット上で、マネージド型で提供
 - いつでもどこからでもアクセスできる（VPN 不要）
 - ポータルの運用管理はクラウド事業者側で実施

使い勝手も一緒

- 統合 ID によるログイン
 - ブラウザからアクセス
 - 多要素認証（MFA）や企業アカウントでのログイン
 - 1回認証が通れば、他ツール利用時も再認証不要（SSO）
- 使いたいサービスにすぐにアクセス
 - トップページに「よく使うサービス」をリンク
- 細かい権限管理
 - ロールベースアクセス制御（RBAC）
- よく似たクラウドエクスペリエンス（Look & Feel）
 - モダン UI（アイコン / タイル型）
 - ポータル上からそのままマニュアル閲覧、ケースオープン

GLP のメリット - ② 他社ハードウェアベンダーとの比較

ハードウェア管理ツールの SaaS 化 (COM, DSCC, Aruba Central)

- 多くのベンダーは、オンプレミス内に依然として管理サーバーや管理コントローラーが必要
 - 但し、InfoSight 相当の「監視のみ SaaS」なら他社にもある
- SaaS のメリット
 - クラウドと同じ使い勝手
 - インターネットとブラウザさえあればどこでもアクセス可能
 - VPN 不要で、在宅勤務との親和性が高い
 - メーカー側でマネージド提供
 - 常に最新の状態が維持されることで、セキュリティ対策や安定稼働に貢献
 - 管理サーバーのお守り不要
(メンテナンス、バージョンアップ、バックアップなど)

統合プラットフォームによる差別化 (GLP)

- パブリッククラウドのような使い勝手
 - 例: インターネットポータルで「ストレージ」を選んだらストレージ管理
- セキュアで高度なログイン認証を提供
 - MFA: Okta、Authenticator、生体認証、スマートカード
 - SSO: AD/LDAP だけではなく、IdP/SAML に対応
- **HPE 製品・サービスをより広くお使いいただける**
 - 例: GreenLake 既存ユーザーなら
 - GreenLake Central と同じポータルと ID でハードウェアも管理できる
 - 例: ProLiant (COM) に加えて Alletra も
 - 共通の ID, 共通の管理方法
 - 宛先ホストなどのファイアウォール設定もそのまま利用可能 (例外ケースあり)
 - 例: Aruba アクセスポイントに加えて、タワーサーバーも

GLP のメリット - ③ パートナー様にとって

ISV

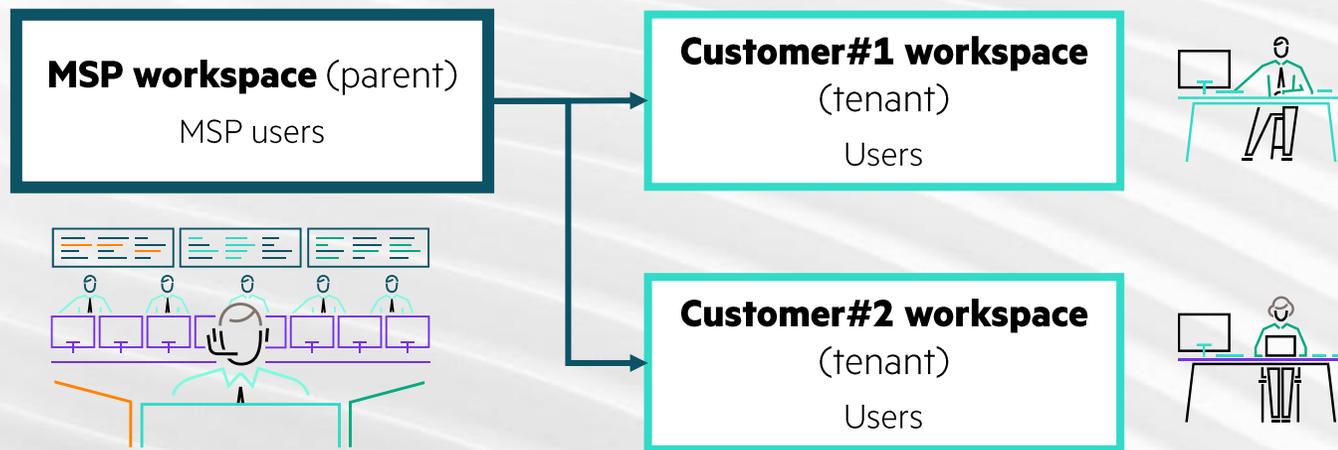
- 自社の SaaS ソリューションを HPE GreenLake Marketplace に公開*

SI

- 顧客 DC に入館せずとも、SaaS から HPE 機器の管理制御が可能

MSP (Managed Service Providers)

- Aruba Central に続き、各種サービスが MSP モードの対応を準備中



* 所定の審査が必要になります



Thank you